

# 浜松市文化財情報

## 遺跡の整理作業が進んでいます

### ◆舞阪町天白遺跡とは？

舞阪町天白遺跡の発掘調査は、舞阪小学校の校舎が建設されることになったため、昨年8月～10月にかけて校庭の西側で実施されました。発掘調査により、飛鳥時代から奈良時代の竪穴住居跡 27 軒分、掘立柱建物跡（倉庫）2棟分が発見されました。



天白遺跡全景

### ◆天白遺跡から出土したもの

今年度は、発掘で出土した遺物について、整理作業を実施しています。

出土した土器の破片を洗った後、接合してもとの形に復元しました。カマドに掛ける煮炊き具としての甕（かめ）や甑（こしき：蒸し器のこと）、食器としての蓋付の杯身（お茶碗）や皿や鉢、容器としての壺など、多くの須恵器（すえぎ）や土師器（はじき）が復元されました。

他には、塩を入れて三河から持ち込まれた専用の土器、陶馬（陶器で作られた小型の馬形）や革袋形土製品（革製の水筒を模倣したもの）など祭祀に用いられた土製品、漁業に用いられた網のおもりがあります。おもりは、形や重さがまちまちなので、いろいろな種類の網を使って魚がとられていたと想像されます。



復元された土器

整理作業の成果は、発掘調査報告書だけでなく、概要を『浜松の遺跡Ⅱ』と題した冊子にも紹介します。

### ◆一方、梶子遺跡も…

7月から中区南伊場町で進めてきました梶子遺跡の発掘調査は、11月上旬に現地調査が終了しました。調査の結果、弥生時代から戦国時代にかけての遺構と遺物が見つかりました。特に古墳時代後期から奈良時代にかけてのものが多く、竪穴住居跡や掘立柱建物跡などからなる集落跡を確認しました。

引き続き出土品の整理作業を行い、出土した遺物を洗ったところ、奈良時代から平安時代（8世紀～9世紀）の墨で文字が書かれた土器が含まれていることが明らかになりました。文字は梶子遺跡周辺の古代の地名である「竹田」や、人の名前と思われる「廣勢」などの他に、壺の蓋の裏側に「散仕」と書かれたものが見つっています。

「散仕」とは奈良時代の郡役所に勤め、文書の運送などの雑務を行っていた職員のことを指します。『駿河国正税帳』など奈良時代の古記録にその名が確認されていますが、土器に書かれているものは初めての発見となります。

梶子遺跡周辺は奈良時代の敷智郡の郡役所が置かれていたと考えられていますが、今回の「散仕」墨書土器の発見から、よりその可能性が高まったと言えます。



「散仕」の字が見える

### 出土品整理中の神原理蔵文化財調査事務所



# 土器の整理作業って、どうやるの？

①整理作業は、まず出土した土器をきれいに水洗いし、破片の一つずつに出た場所を墨で記入することから始めます。この作業は、根気のいる仕事です。

場所を示す番号を記入します



②土器の破片を接着剤で接合し、欠けている所には石膏を入れて復元します。接合は、パズルのようですが、全てが埋まるわけではありません。そのため、石膏で補う必要があります。

③復元した土器は、報告書や冊子に掲載する写真を撮影するため、また博物館などで展示できるように、色を塗って仕上げます。完全な形に土器を復元できると、達成感で、たいへんうれしくなります。



④また、土器は原寸大で正確な図面を作成し、きれいに清書して報告書に掲載します。図面の作成は、正確さが要求されますので、根気が要るとともに、緊張する作業です。



⑤発掘調査の所見と、出土品の説明を原稿にし、写真や図面類を加えて、報告書にまとめます。報告書の刊行で、発掘調査はやっと完了となります。

今までに刊行した報告書の一部



## 文化財日記抄

11月には、こんな調査活動などを行いました。

◆遺跡現地発掘調査：

梶子遺跡 (7月～11月)

◆その他の調査活動等

4日 浜北区於呂	百々原遺跡の試掘調査
10日 中区・西区	姫街道松並木現状確認調査
11日 西区入野町	文化財保護審議会委員による龍雲寺の調査
13日 東区恒武町	茶ノ木田遺跡の工事立会い
19～20日 東区半田町	半田山古墳群の試掘調査
19日 北区都田町	貴見寺東遺跡の試掘調査
21日 東区丸塚町	五反田遺跡の試掘調査
25～28日 浜北区染地台	辺田平古墳群の試掘調査

静岡県指定天然記念物

「浦川のホソバシャクナゲ群落」の現況確認調査(12/2)

文化財指定地の様子を確かめました。植物群落、山城跡などの確認調査は、草の生い茂る夏場よりも、この時期が適しています。今回の調査では、ホソバシャクナゲの生育状況を把握することができました。



## 文化財関係イベント

■1月3日(土)

国指定重要無形民俗文化財「遠江のひよんどりとおくない」のうち『懐山のおくない』

懐山のおくない祭礼

▶午後1時頃～8時頃 天竜区懐山

■1月3日(土)

国指定重要無形民俗文化財「遠江のひよんどりとおくない」のうち『寺野のひよんどり』

寺野のひよんどり祭礼

▶午後2時～6時頃 北区引佐町渋川

■1月4日(日)

国指定重要無形民俗文化財「遠江のひよんどりとおくない」のうち『川名のひよんどり』

川名のひよんどり祭礼

▶午後6時～10時頃 北区引佐町川名

■1月25日(日)

国指定重要無形民俗文化財「遠江のひよんどりとおくない」、県指定無形民俗文化財「滝沢の放歌踊」

第13回静岡県民俗芸能フェスティバル「はままつの芸能」

▶午後1時～4時30分 引佐多目的研修センターホール



編集後記

神原町にある埋蔵文化財調査事務所では、ただいま、出土品の整理で大忙しです。整理に関わっている方の声を聞いてみました。「実測する道具に慣れるのが大変で、とにかく難しいです(実測担当)」「土器片から探すので、珍しい土器が形になったときはうれしい!(復元担当)」「手が荒れやすいし、取り扱いにも苦労します(石膏担当)」お疲れ様です!